

# 校報

## 第三百九十二號

昭和十一年五月二日

### 東京女子高等師範學校

#### 叙任及辭令

東京女子高等師範學校訓導 山本セイ

滿洲國へ出張ヲ命ス（四月三十日）

東京女子高等師範學校保姆 村上露子

東京府へ出向ヲ命ス（五月一日）（以上文部省）

東京女子高等師範學校教授 尾上八郎

東京女子高等師範學校生徒主事 前田のゑ

學術實地指導ノ爲文科第四學年生徒ヲ引率シ京都大阪

奈良滋賀三重ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス（五月十五日出發  
五月二十二日歸校）

發七泊八日

東京女子高等師範學校教授 保井コノ

東京女子高等師範學校講師 本田正次

東京女子高等師範學校囑託 澤田信

學術實地指導ノ爲理科第四學年（植物選修）生徒ヲ引率

シ神奈川縣下三崎地方へ出張ヲ命ス（五月二十一日出發  
五月二十四日歸校）

泊四日

東京女子高等師範學校教授 久米又三

同 中村コウ

東京女子高等師範學校囑託 柳川操

學術實地指導ノ爲理科第四學年（動物選修）生徒ヲ引率

シ神奈川縣下三崎地方へ出張ヲ命ス（五月十七日出發  
五月二十二日歸校）

泊六日

東京女子高等師範學校教授 乙部孝吉

同 黒田チカ

學術實地指導ノ爲理科第四學年（數學物理化學選修）生

徒ヲ引率シ新潟茨城群馬宮城福島ノ五縣下へ出張ヲ命

ス

（五月十八日出發  
五月二十四日歸校）六泊七日

東京女子高等師範學校教授 菅原教造

同 由井テイ

學術實地指導ノ爲家事科第四學年生徒ヲ引率シ福岡大

分長崎鹿兒島岡山ノ五縣下へ出張ヲ命ス（五月十六日出發  
五月二十三日歸校）

發七泊八日

東京女子高等師範學校教授 飯本信之

東京女子高等師範學校生徒主事 江本ヨシ

東京女子高等師範學校囑託 籠瀬良明

學術實地指導ノ爲文科第二學年生徒ヲ引率シ神奈川縣

下箱根及静岡縣下熱海地方へ出張ヲ命ス(五月二十六日出  
五月二十八日歸

發二泊三日)

東京女子高等師範學校教授 大槻虎男

東京女子高等師範學校囑託 澤田信

學術實地指導ノ爲理科第二學年生徒ヲ引率シ神奈川縣

下箱根地方へ出張ヲ命ス(五月二十六日出發  
五月二十八日歸校二泊二日)

東京女子高等師範學校教授 近藤耕藏

東京女子高等師範學校助教授 越智延

學術實地指導ノ爲家事科第二學年生徒ヲ引率シ神奈川

縣下箱根及静岡縣下御殿場地方へ出張ヲ命ス(五月二十  
五月二十二

六日出發  
八日歸校) 二泊三日(以上四月二十八日本校)

### 法令、規則及細則

●丙規中改正 四月二十三日丙規遠足、修學旅行及見

學ニ關スル事項中左ノ通改正セリ

二 修學旅行(一)ノ第二項ノ次ニ左ノ但書ヲ加フ

但視察見學ノタメ必要アルトキ其ノ他特別ノ事由

アルトキハ地方ノ變更ヲ爲スコトアルヘシ

●實驗室實習室使用通則 四月二十七日實驗室實習室

使用ニ關スル通則ヲ左ノ通定メタリ

實驗室實習室使用通則

生徒ハ實驗室實習室ノ使用ニ際シ左ノ事項ヲ勵行スヘ

シ

一、放課後實驗室實習室ヲ使用スルハ生徒二人以上ニ

シテ教官ノ許可ヲ得タル場合ニ限ルコト

前項許可ヲ得タル場合ト雖モ左ノ時限ヲ超ヘサル

コト

自十一月一日至三月末日 午後五時

自 四月一日至十月末日 午後五時三十分

右ノ時限ヲ超ヘテ使用スルハ實驗室實習ノ爲已ムヲ

得サル必要ニ基キ且教官ノ附添アル場合ニ限ルコ

ト

一、電氣瓦斯等火熱ノ使用中ハ周到ナル注意ヲ拂ヒ火

災ノ危険ヲ豫防スルコト

一、火氣ノ後始末ヲナスコト

一、可燃性又ハ有毒性藥品ノ取扱ニ就テハ特ニ注意シ

火災、負傷其ノ他ノ災害ヲ未然ニ防クコト

一、萬一失火其ノ他不慮ノ災害ヲ生シタルトキハ沈着  
迅速ニ機宜ノ處置ヲ執リ其ノ擴大ヲ防クヤウ努ム  
ルコト

一、特ニ失火ノ場合ニハ左ノ事項ニ留意スルコト  
備付ノ砂ヲ撒布スルコト

瓦斯管ヲ閉鎖スルコト

油性物質ニ引火シタル場合水ヲ注カヌコト

教官室事務室宿直室(午後四時以後ノ場合)小使室  
等ニ急ヲ告グルコト

一、前記各項ノ細目並ニ各實驗室實習室ニ特有ナル事  
項等ニ就テハ各教官ノ指示ニ遵フコト